

令和7年度世界農業遺産集住民提案型地域活動支援事業

活動実績

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

申請団体	秋津川地域ワーケーション受入モデル事業実行委員会
団体活動	<p>○秋津川地域ワーケーション受入モデル事業実証委員会 JA紀南・紀伊民報・秋津川振興会で構成 3者で検討を重ねる中、今回の事業実施に至った。</p> <p>○秋津川振興会 田辺市の紀州備長炭記念公園の設置とともに、紀州備長炭はもとより梅や地域産物の振興やPRのため、平成9年1月に地元関係者を中心とした皆様からの出資金をもとに設立された組織で、現在、紀州備長炭記念公園の指定管理者として、発見館や売店、体験実施、バーベキュー施設の管理を行うとともに、紀州備長炭や梅を軸に地元産品の販売促進に取り組んでいる。また、田辺市や木炭組合と連携し、1ターンの受け入れによる製炭者の後継者育成に取り組むとともに、近年では、紀州備長炭の原木確保のため、ウバメガシの植樹事業に取り組んでいる。</p>
事業名	秋津川地域ワーケーション受入モデル事業実行委員会
事業内容	<p>特定非営利法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)と連携し、梅収穫に係る人材不足対応を図るとともに、現地入りする学生等には滞在中の共同生活等を通じて、梅の魅力や地域の文化に触れてもらい、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」の魅力発信を行う。特定非営利法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)については、これらの希望に対して、参加者の公募をかけ、日程調整して派遣するという流れになり、産地側としては一定のルールを構築し、生産者と話し合いながら進める。</p>
事業費	¥494,000
補助額	¥200,000
事業実施報告	<p>ワーケーション営農時間合計6農園、224時間。 学生等に梅の収穫や加工に触れてもらうことで、梅についての理解を深めてもらったと同時に梅収穫に係る人材不足で困っている農家に対して、問題解消の一助になった。</p>

写真まち

